

令和7年度 保育室の自己評価

保育目標①よく食べよく遊び安定して眠る ②探索欲求を満たす ③表現することを喜ぶ

■ たいへんよい ■ よい ■ 一部検討する ■ 改善を要する

項目	内容	たいへんよい	よい	一部検討する	改善を要する
保育目標	1. 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	67%	33%		
	2. 目標は、施設や地域の特徴を生かしているか。	50%	50%		
	3. 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。	50%	33%	17%	
	4. 目標は、前年度の反省を生かしているか。	17%	67%	17%	
	5. 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	33%	50%	17%	
保育	1. 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	50%	50%		
	2. 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	50%	33%	17%	
	3. 環境構成を意識した保育を工夫しているか。	20%	60%	20%	
	4. 素材・用具を適切に活用しているか。	50%	50%		
	5. 評価結果をもとに保育の改善に努めているか。	17%	83%	0%	
	6. 一日のデイリープログラムは現行でよいか。	17%	83%	0%	
行事	1. 行事の種類や回数は適切か。	50%	50%		
	2. 行事の狙いを計画や実施に十分生かしているか。	17%	83%	0%	
	3. 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	17%	83%	0%	
	4. 計画・実施・改善の体制をとっているか。	100%			
	5. 保護者の願いや意見を取り入れているか。	50%	50%		
情報	1. 乳幼児の保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	60%	40%		
	2. 公文書の收受・発送・処理を適切に行っているか。	67%	33%		
	3. 帳票・帳簿は適正な時間・方法で作成・処理しているか。	67%	33%		
安全	1. 施設内外の設備の安全点検を計画的に行っているか。	67%	33%		
	2. 遊具・玩具等を活用しやすいように整理・保管しているか。	17%	83%		
	3. 不審者に対応する配慮を行っているか。	17%	67%	17%	
	4. 掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	50%	50%		
経理	1. 各種会計を適正かつ適切に活用しているか。	67%	33%		
施設間交流	1. 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。	25%	75%	0%	
	2. 他施設の子どもと触れ合う中で、楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。	50%	50%		
	3. 保育士同士が打ち合わせを行い、互いの保育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	20%	40%	40%	
	4. 日常的に情報を共有し、交流活動に生かしているか。	50%	50%		
家庭・地域との連携	1. 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日時を設定しているか。	33%	33%	33%	
	2. 乳幼児の興味や関心に基づいて、地域やその他の施設と交流をしているか。	50%	50%		
	3. 地域の資源を使い、地域の方と積極的に交流しているか。	67%	33%		
	4. 地域の資源の一つとして、地域の会議に参加し地域の情報を収集できているか。	20%	80%		
	5. 「子育てについて」など保護者を対象とした話し合いの機会を設定しているか。	33%	67%	0%	
	6. 医療機関等専門機関と連携し、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	33%	67%		
	7. 通信やホームページ等で施設の情報を発信しているか。	33%	67%		
	8. 行事や施設の情報を地域に向けて周知しているか。	50%	33%	17%	
	9. 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。	50%	50%		

【令和7年度を振り返って】

1. ワークシェアで1日に数人が関わる保育の中で、日々の保育目標の全員での共有が難しかった。
2. ドキュメンテーションについては週1回めどの掲示ができ、保護者に保育中の子どもの様子を知らせることができた。
3. 個人情報保護については日々の危機管理の意識が高まり、また、スタッフ会でのチェックリストをもとにした確認も行えた。
4. 危険個所についてはスタッフ会での確認が行えないことがあり、危機意識を合わせるまでに至らなかった。
5. 外部施設とは年度初めから連絡を取り合い、合同保育などの連携が行えたが、人員の不足から法人内施設での入所促進のための遊び紹介などは行えなかった。

【令和8年度の目標】

1. 業務日誌・引継ぎファイル・グループ LINE やアプリなどを見やすい・使いやすい伝達ツールにし、職員全員が勤務前に必ず目を通し、子どもや家庭の情報などを共有する。
2. 危険個所については危機管理意識を合わせるために、月一回スタッフ会の議題でチェックリストをもとに確認する。
3. Instagram や Google に日中の写真や動画を掲載して、普段の保育の様子をドキュメンテーションと共に見てもらう。Instagram や Google のアカウントは HP やチラシなどで周知する。
4. 子育て支援拠点やつどいの広場に出向き、手遊びや絵本の読み聞かせなどで一緒に遊ぶ、また、小規模保育の良さを伝えることで利用者にピア・ピアを知ってもらう。